

いなさの風

No.30

令和7年 5月13日

〒852-8011 TEL095-861-2650

長崎市稲佐町11番1号

長崎市立稲佐小学校長

岡田 政宏

学校教育目標 **たくましく未来を切り拓く子どもの育成**
「なりたい自分になる」 いなさっ子の**学びの多様化**に応える

「こども六法」による法律紹介6

先生たちはチームでいじめに対応するよ

【いじめ防止対策推進法第22条】

学校におけるいじめ防止等の対策のための組織

学校は、いじめの防止・早期発見・起きてしまったいじめの対処をきちんと行うために、複数の先生たちや、専門家たちを集めたチームを作らなければいけません

「こども六法」188ページより引用

【著作権について】

書籍の紹介に当たり、無断で本の表紙写真を載せることは著作権違反となります。本文の一部引用に当たっては条件を満たせば許容範囲となります。本学校だよりでは、著者の山崎聡一郎さんに、直接許諾をいただき、シリーズで紹介しています。

ワンチームになって、
●年生のいじめ対応を進めましょう。



稲佐小 HP いじめ防止基本方 <https://xgd/8Pqhu>

先生 No.26



今回は、この春、対馬から長崎市に戻られた、3年1組担任、〇〇〇〇(〇〇〇〇)先生です。自身の小学校時代が楽しかったので、小学校の教員を目指したそうです。車を止めて横断歩道を渡る鹿を待つたり、韓国の方に自販機でおすすみジュースを紹介したりと、貴重な経験ができた対馬での3年間。熱くなる瞬間は、バス(長崎ヴェルカ)や野球(甲子園)などのスポーツ観戦。ミセス・グリーンアップ

みずがめ座

幸せは自分の心が決める

〇〇先生

ルやあいみよんの歌が好き、中高生に大人気のスマホアプリ「ポケポケ」にもはまっているとか。早く稲佐小に慣れたいの、たくさん話し掛けてもらいたいとのこと。みなさん、どうぞよろしくお願いします。

全国学力学習状況調査に見る いなさっ子

4月に実施した学力テストの中から、6年生にスポーツを当てて、児童アンケートと国算理のテスト問題について考察してみます。今回はアンケートに見るいなさっ子の実態。まずは、「平日の授業以外の学習時間」。2時間以上が約33%、1〜2時間が約36%、30分〜1時間が約31%です。大

肯定的評価です。さすがいなさっ子です！今回紙面を取り上げている「いじめ」については、「どんな理由があってもいけないこと」という肯定的認識は97%ですが、「困りごとや不安がある時にいつでも相談できる」との肯定的回答は69%と3割の子ともたちは相談できずに悩んでいる様子が伝わります。あはは運動の一つ「早寝・早起き・朝ごはん」に関連して、「毎日同じくくらの時刻に寝て」90%、「毎日同じくくらの時刻に起きる」

つつじまつり (いなさっ子クラブ)



<https://xgd/2tMH1>

歓迎集会・歓迎遠足



<https://xgd/LY8SV>

10092%、「朝食を毎日食べる」100%の肯定的評価。寝る時間と起きる時間の設問はありませんでした。「幸せな気持ちになることが『よくある』」子は64%。時代のキーワード、「ウェルビーイング」ですね。この数値は、ご家庭と連携してぜひ高めたいですね。今回は学力テストについて考察します。

ケセラセラ

1995年4月28日、今から30年前に、淵中学校で女子生徒が自らの命を絶つという痛ましいできごとがありました。存命ならば保護者の皆様の中に、同じ世代の方もいらっしゃると思います。いじめは、ヒトの脳が成す「社会的排除」の感情表出であり、子どもの世界だけではなく、年齢や場所や時代を問わず、集団があればどこでも存在する現象だと考えられます。皆さんもこれまでの人生の中で、心無い悪口や嫌がらせを受けた経験があらわれると思います。淵中では、生徒が主体的に参加する「淵中いじめ対策委員会(FPKO)」の活動として、事件の翌年から毎年追悼集会を開いているそうです。生徒たちは、定期的に学年の枠を超える縦割り活動で「命・人権・平和」について、話し合いを続けているとのこと。本校も「あたたかい言葉のキャッチボール」運動を続けていきたいと思います。「こども六法」の著者である山崎聡一郎さんは、自身のいじめ被害、そして加害の経験を基に、「法」について子どもたちに紹介する本を執筆したのだそうです。

